

まちの“あつまいっこ”

No.20

発行月：令和4年6月

発行者：長寿介護課高齢者支援係

皆さんは日々の暮らしの中にご近所づきあいがありますか？

また、気の合う仲間はいますか？

5年後、10年後に向けて、「住みやすい、住んでいてよかった」と思える、「人とひととのつながりのある地域」をめざし、それを「地域のお宝」として紹介していきます。



お茶っこの会～3周年を迎えました～



「お茶っこの会」は、2019年5月16日に10名の参加者でスタートしました。

当日を思い起こせば、開口一番、お互いに「久しぶりだなあ」という挨拶から始まったことが印象に残っています。

3年の間、4回の休止（コロナ禍のため）はあったものの、毎月開催することができました。また、施設入所、旅立ちなどで3名の方とお別れをしました。

会は、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、志和公民館等のご協力により、介護予防等の知識を得るお話を聞き、今後の生きがいを考える機会を得られたと思います。

参加した皆さんは、最初、遠慮がちでしたが会を重ねるたびに積極的になり、最近では、自分の体調管理の相談、野菜作りのノウハウ、家

族のこととか話題が豊富であつという間の2時間が過ぎます。話を聞いていると、先輩たちの日常生活をおくるうえでの「ちょっとした工夫や家族を大切に思う気持ち」が感じられ、いつも感心させられます。

「お茶っこの会」の日に、皆さんがいきいきとした雰囲気集まっていらっしゃる姿を見て、お年寄りはこうであってほしいと思います。

今後、「お茶っこの会」は、皆さんに生きがいを持ってもらえるような活動を継続するとともに、年配者が持っている経験・知識・技術の伝承を図るための世代間交流をしていかなければならないと思っています。

（寄稿：お茶っこの会 小田中久夫）

☆地域のすてきなつながりです☆



～皆さんの感想～

- お茶っこの会では、小学校、農作業、祭りの時の話で盛り上がります。
- ここに集まることができて本当に良かったです！
- 視力が悪くなり、耳も聞こえなくなっていますが、毎月参加できるのを楽しみにしています。
- 長く続けてほしいと願っています！



【編集後記】

町では、住民同士が気軽に集まり、交流を通した「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げてもらうため、住民自らが作る「つどいの場」を応援しています。こうした「つどい」は、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。そういった「つながり」を「お宝」として発信していきます。

皆さんの地域の「つながり」情報を教えてください。

長寿介護課高齢者支援係 中村 富士子

☎672-2111(内 1232)



生活支援コーディネーター

佐藤由美子 菅波久美子